

シター

～CS委員研修・板橋第一小学校iCSの取組について～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

9月12日(火)に、グリーンホール2階ホールにて「熟議のファシリテーター」について、CS委員研修を開催いたしました。ファシリテーターに関する講義の後、グループに分かれて熟議の実践を行いました。今回はCS委員研修の様子と、板橋第一小学校iCSの取組をご紹介します。



ファシリテーターとは

熟議の進行が円滑に行われるよう、中立的な立場から支援を行う役割の人であり、参加者の持つ力を最大限に引き出すための手法や技術が求められます。



講師

よつやなぎ ちかこ

四柳 千夏子 氏

文部科学省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)
三鷹市教育委員会統括スクール・コミュニティ推進員

今年度、iCSアドバイザーとして、板橋区のCS委員会を訪問していただきます。

CS委員研修では、CS委員会を「より深い相互理解」・「より効率的な共有の場」としていくために、熟議において重要な役割であるファシリテーターについて、講義とグループワーク、模擬熟議を行いました。

不登校について話し合う模擬熟議では、それぞれのグループで熟議のテーマとゴール、タイムテーブルを設定し、自分たちで熟議を

デザインすることを意識していました。熟議の中で時間管理をしっかり行い、ゴールを設定することで、限られた時間の中でも「納得感」のある合意を得ることができます。「不登校」という大きなテーマに対して、「不登校の子どもに対して地域は何ができるのか」「行きたくなる学校とは何だろう」など、様々な切り口で話し合いが行われていました。

参加者からは、「熟議の組み立て方、時間設計の大切さがわかった。」「機会があればファシリテーターをやってみたい。」などという声がありました。

熟議は、参加者全員が主体的になるための話し合い、ゴールに向かうためのプロセスです。テーマやタイムスケジュールの設定、机の配置の工夫や雰囲気づくりを行い、準備を万全にすることで充実した熟議を行うことができます。



CS委員研修のアーカイブ配信を行います！

二次元コード先のリンクから1月31日(水)までアーカイブ配信を見ることができます。ぜひご覧ください。



板橋第一小学校 iCS の取組

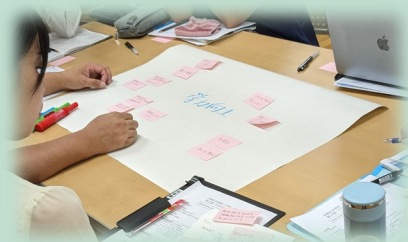
板橋第一小学校の第2回CS委員会は、令和5年8月29日（火）に開催され、全教員を交えた熟議が行われました。「学力向上」「体力向上」「生活指導」の3つのテーマについてグループに分かれて話し合われました。

熟議を始める前に、CS委員長と校長それぞれが、「この委員会内で、子どもたちの様子や困っていること等を共有し、地域コーディネーターを通して、学校支援地域本部の支援活動に結びつけていきたい」とお話しされたのが印象的でした。



熟議では、それぞれの立場から見た子どもたちの現状を共有した後、どんな子どもになってほしいか、そのためにはどんなことをすればよいか等について意見を出し合いました。「学力向上」がテーマのグループでは、「学ぶ意欲を向上させてあげたい」という意見が出されました。

そのためには、将来どんな大人になりたいかが明確になれば、目標ができ、学ぶ意欲があがるかもしれないとグループで考え、「いろいろな職業の方の話聞く機会をつくってはどうか？」等の具体的な方策が出されました。



また、学校が学校支援地域本部へサポートをお願いしたい授業の一覧表（実施日、時間帯、必要人数等が書かれたもの）を作成し、CS委員を務める地域コーディネーターの方に、ボランティア募集の依頼をしていました。

板橋第一小学校の学校支援地域本部では、昨年度末から新たにBANDというグループコミュニケーションアプリを活用し、ボランティアを募集しているそうです。現在200名を超えるボランティア登録があり、地域コーディネーターの方々がボランティア募集や調整を行っています。

iCSフォーラム アーカイブ配信中です！

7月21日（金）に開催したiCSフォーラムのアーカイブ配信を行っております。配信内容は、中台小学校と高島第三中学校のiCSの取組事例や、香月よう子氏（一般社団法人きてきて先生プロジェクト代表理事）による講義です。

配信期限は、12月31日（日）までです。ぜひご覧ください！！

